

フォーラム

新しい絆

第33回

参加費無料

社会的養護のもとで育つ若者の「ライフチャンス」

子ども期にかかわる社会的養護は、子どもたちのその後の「人生」をも見守ることができる特別な営みです。社会的養護を必要とした若者たちのその後の生活を「ライフチャンス-選択肢とつながりの保障-」という視点から考えてみませんか。

「ライフチャンス」を保障するために、重要なのは「当事者参画」です。社会的養護を経験したトークセッションゲストの体験もふまえながら、時に過酷ともいえる社会的養護を必要とした子ども・若者の「人生」を何が支えていくのか、ともに考えます。

第1部

基調講演

若者たちの「人生」をなにが支えていくのか

-社会的養護のもとで育つ若者のライフチャンス・当事者参画の視点から

講師 永野咲さん 武蔵野大学人間科学部講師 IFCA日本法人副理事長

第2部

トークセッション

ライフチャンスのためにできること

日時

2021年2月28日(日) 13:30~16:30

会場

オンライン・会場同時開催
早良市民センター第一会議室(定員40名)



お問い合わせ
申し込み先

特定非営利活動法人 子どもNPOセンター福岡
TEL092-716-5095 FAX092-753-6360 E-Mail info@npoccf.jp

●主催:ファミリーシップふくおか(里親養育支援共働事業実行委員会)・福岡市

講師プロフィール

永野 咲 さん

武蔵野大学人間科学部社会福祉学科講師。博士（社会福祉学）。NPO法人IFCA日本法人副理事長。主な著書に『社会的養護のもとで育つ若者のライフチャンスー選択肢とつながりの保障、「生の不安定さ」からの解放を求めてー』明石書店（2017年）。

フォーラム「新しい絆」とは

＜家族と暮らせない子どもたちに里親家庭を＞の願いを共有した市民と福岡市との共働事業「新しい絆プロジェクト」の一環として、年2回開催しています。実行委員会を「ファミリーシップふくおか」と呼びます。福岡市では、これまでの市民・行政の共働が大きな力となり、社会的養護の子どものうち、里親家庭で暮らす子どもの割合は50%以上となりました。施設から家庭への転換が国際的に進められていく中で、福岡市のこれまでの取り組みや経験が全国的に注目されています。



福岡アピール「社会全体に広げよう、支えよう、里親と子ども」より

子どもは、家族と離れ、胸いっぱい不安をかかえながら、その人を待っています。里親は、自分の家庭を社会に開き、その子を迎え、深く、温かいふところに抱きとめます。子どもと里親の出会い。地域に支えられ、子どもに愛と希望を取り戻し、生きる力を与える里親のものがたりを、私たちはたくさん経験してきました。

子どもたちが身をもって教えてくれたこと。それは、子どもにとっての「家庭」の大切さ。国連子どもの権利条約はいいです。「子どもは、その人格の完全なかつ調和のとれた発達のため、家庭環境の下で、幸福、愛情及び理解のある雰囲気の中で成長すべきである」と。家庭で暮らすことは、「子どもの権利」なのです。

皆様に呼びかけます。

1. 家族と暮らせなくなった多くの子どもたちのことを、広く社会全体に知らせ、里親への参加を呼びかけましょう。
2. 「子どもと里親」、地域で支援を求めるすべての「子どもと家族」を支えるしくみづくりをめざし、市民、政府・行政、専門家、企業、メディアもつながりあって、協働しましょう。
3. 子どもが大人として社会に巣立っていく道のりを、社会全体で応援しましょう。
4. しきみづくりにあたっては、子どもの意見に耳を傾け、尊重しましょう。

2015年9月「里親推進フォーラムin福岡」でのアピール文の一部です

〇オンライン参加の方

お申し込み後参加リンク(zoom)をメールにてお送りします。

送信エラー防止のため申し込みフォーム(グーグルフォーム)からのお申し込みをお願いいたします。

〇会場参加の方

申し込みフォーム(グーグルフォーム)または以下に必要事項を記入の上、FAXで送信ください。お電話やメールでも受付いたします。

申込フォームQRコード

※子どもNPOセンター福岡のHPからお申し込みできます。



(ふりがな)

お名前

ご住所 〒

TEL /

E-mail

所属

今後フォーラム等のお知らせ(メール)を希望 する しない

お問い合わせ
申し込み先

特定非営利活動法人 子どもNPOセンター福岡

TEL092-716-5095 FAX092-753-6360 E-Mail info@npoccf.jp ホームページ <https://npoccf.jp>